

## CT 造影検査に関する説明と同意

造影検査の副作用と合併症（ヨード造影剤に起因するもの）

- 1、 軽度のものとして、吐き気、嘔吐、じん麻疹など。
- 2、 中等度のものとして、血圧低下、呼吸困難、ショック、急性腎不全など、入院加療を必要とするものが、6,000～9,000 人に1人位の割合で見られます。
- 3、 さらにこれが原因で死亡に至る場合が、10 万人～15 万人に1人の割合で見られます。こうした副作用を起こしやすいのは、過去に食べ物やお薬などに対してアレルギーを起こしたことがある人、またヨード造影剤でアレルギー反応のあった人、気管支喘息の人やその既往のある人などですが、こうした既往のない人にも起こることが分かっています。また、急性腎不全（尿量が急に減少する）については、造影剤を必要以上に使いすぎた場合に起こりやすいこと、もともと腎機能の悪い人に起こりやすいことが分かっています。

検査は慎重に進められいずれの合併症も起こらないように、また副作用が起こった場合、迅速に最良の処置を行います。以上について説明をしました。また、同時に検査の目的、必要性についても説明を行い患者様ご本人から、口頭にて同意を得ました。

年 月 日

患者氏名 \_\_\_\_\_

医療機関名 \_\_\_\_\_

医師署名 \_\_\_\_\_